

若い世代を巻き込んだ「KANSAI-SDGs市民アジェンダ」の策定と活用

～関西地域のSDGs啓発・普及活動を目指したアクションへつなぐ～

活動地域 大阪府

ひろげる助成

3年目

実践

分科会の開催 **1**回

ユースアジェンダシンポジウム参加者 **200**人

今年度計画の達成度 **70**%

目標達成度 **85**%



第4回分科会「教育」の様子

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響でオンライン化を余儀なくされた点。事務局がオンライン会場を用意できても、個人の年代等によって関わることへのハードルの高さが変わってしまう。

■工夫した点

なるべく対面時の方法を再現することを試みつつ、そのために新たなオンラインツールを使う場合は、協力してくれる人たちに向けてツールの使い方を事前にレクチャーするなど工夫した。

課題

非営利セクターを含む市民レベル・地域レベルでの、SDGsの理解や発信の不足。若い世代の声が拾われにくい・届きにくい現状や市民一人ひとりの当事者意識の不足。

目標

関西地域で市民レベルでのSDGsに対する理解が進む。さらに、地域・市民から、地球規模の環境・社会課題の解決に向けた行動変容が見られ、SDGs達成への道筋が示される。

活動内容と成果

- 前年から続けてきた活動である分科会のまとめとして、「人権」をテーマにした分科会を開催し、参加者のSDGsについての理解及び行動変容の促進を図った
- 高校生の専門チーム「ユース提言セクション」を立ち上げ、同世代に向けたユースアジェンダとして貧困と差別に関する提言書を作成した。その提言書及び提言書作成に至るまでの調査内容についてシンポジウムを開催し、延べ200人以上の高校生が参加した
- 全分科会の振り返り内容及び関西地域のNGOのSDGsとの関わりについてまとめた報告書を作成した



ユースアジェンダオンラインシンポジウム

全助成期間の活動を振り返って

関西地域の市民レベルでのSDGsの理解の促進(特に、SDGs概論のような内容ではなくより具体的な部分に踏み込んだ理解の促進)、周縁化されやすいユース世代の声を届きやすいものにしていくこと、そしてSDGs達成に向けた道筋の提示という3点において、少なくともその一端を担うことはできたと自負している。また、これまで地域での協働があまり活発でなかった環境系・開発系団体の双方とともに活動に取り組んでこられた。



報告書の1ページ(気候変動分科会)



〒530-0013
大阪府大阪市北区茶屋町2-30, 4階
電話：06-6377-5144
E-mail：knc@kansaingo.net
HP：https://kansaingo.net/



今後の展望

開発系団体だけでなく環境系団体にも協力を仰ぎ、両者と一緒にこの活動に取り組んでこられたことを重要な成果とし、その連携・連帯をこれで終わらせることのないように次に繋げていきたい。具体的には、これまで行ってきたような分科会(セミナー)の継続や、特にユース世代におけるSDGsの理解度の向上を図ることをしていきたい。それらから得た知見をいかし、日本国内に留まらず海外の市民社会との連携も進めていきたい。